

仙人通信 188 革籠石山(640m)・高取山(522m)

革籠石山・高取山は、仏果山(仙通 5)の尾根の南に位置し、経ヶ岳・華巖山・高取山と連なる丹沢山塊の東端の山脈で、我が家の窓越しに見える最前列の山である。

宮ヶ瀬湖の南端にある土山峠より革籠石山から高取山までの尾根を縦走した後、ゴルフ場の中を荻野川に沿って国道 412 号にある上荻野バス停へと辿るコースとした。

県道 64 号の土山峠のバス停から、厚木方面に僅か戻った所にある仏果山登山口の道標に従い杉林の中の丸太の階段を登る。道路を挟んだ反対側が、辺室山への登山口である。

10 分程登ると宮ヶ瀬湖側が落葉樹林となり、ベンチが置かれた最初の休憩ポイントだ。

コースは尾根コースとなり、青く光る宮ヶ瀬湖や御殿の森の山脈が梢越しではあるが、青空に映える。5 分程進み林道を横切り、20 分程で尾根の両側とも落葉樹となり明るい見通しの良いコースとなる。花の無いこの時期に、椿が赤い花を付け迎えてくれた。

湖と尾根の間には碎石場があり、碎石の重機が動き水源の保安林なのに何か矛盾を感じる。

15 分程で小さなピークを 2 つ超し、仏果山と半原越の分岐点である。ここから仏果山方向に進み、革籠石山を登った後このポイントに戻り、半原越へと進むコースだ。尾根の西側は落葉樹であるが、東側は杉・檜の林で眺望はゼロだ。湖の先の御殿の森へと繋がる高畑山や丹沢三峰山を眺めながら 20 分程で山頂である。丹沢三峰山の上に蛭ヶ岳や黍殻山の丹沢主脈尾根も望めた。先程の分岐まで戻り南方向に尾根を進む。左手の檜林には鹿避けの網が設けられたコースであるが、右手は大山から辺室山までの山脈が楽しめる。15 分程で入浴施設のあるリッチランドへの分岐である。更に 10 分程で鉄の扉のある半原越えの林道だ。ここからは丸太でしっかりと作られた杉林の中の階段を経ヶ岳に向かう。

20 分程登ると尾根となり、大きな石がコースを遮る。経石と呼ばれ弘法大師がこの石の下側の穴に経文を納めた事によるそうで、経ヶ岳の名前もその事に由来するとか・・・。10 分程で三等三角点の経ヶ岳(仙通 121)山頂に到着である。梢越しではあるが、南に相模湾が、西に大山から焼山や道志の山脈が、北側には辿って来た山脈が、霞んではいるが東側には相模川まで 360° の眺望である。8 分程下がった所が以前半原から登った際の分岐点である。華巖山へは尾根を進むのであるが、赤土の急な下りであるもトラロープのみが頼りだ。今年の台風により尾根の太い杉が倒れコースを塞いでいる現状だ。30 分で華巖山の山頂である。半原にある半僧坊の守りの山と思っていたが、山頂にはそれらしき物は何も無かった。更に 25 分で高取山山頂(三等三角点)だ。アブラチャンが黄色い花を付け迎えてくれた。山の神が祀られた尾根を下り 30 分でゴルフ場のゲートだ。大沢の橋から荻野川に沿って 30 分程で国道に着いた 4 時間 40 分(22000 歩)の身近な山波散策でした。 (h 31.2. 20)

革籠石山



経石



華巖山



高取山

